令和６年度　幼稚園評価

学校法人　こうま幼稚園
園長　高麗　正夫

１．　本園の教育目標

〇丈夫な子ども
〇仲良くできる子ども
〇美しいものがわかる子ども

２．　本年度重点的に取り組む目標・計画

園の特色を生かし学年ごとの教育計画を基に、子ども自身の人間力（生きる力）を高める保育を実践する

３．評価者

評価（アンケート調査）をして下さった方は、自己評価（先生）15名、保護者98名の内63名、更に評議員７名の方に評価をしてもらいました。（４よく思う。３そう思う。２そう思わない。１全く思わない。０分からない）

４．評価項目の達成及び取り組み状況

① 園全体で保育内容を共有し、向上を図る。

本園の教育目標である〇丈夫な子ども〇仲良くできる子ども〇美しいものがわかる子どもについてアンケート結果に於いて保護者の方がほぼ理解してくれていた。これは、幼稚園を運営していく上で基本的なことであり、大切な事である。職員会議に於いて、一つひとつの行事や保育内容について意見を出し合い園児の最善の利益となる様に心掛けていた。

② 日常的に異年齢児との交流の場を設け、子ども同士の学びを大切にし、あこがれや思いやりの気持ちを育む。

毎月一回異年齢交流のひろばの日を実施している。５月には、園庭全体を利用し、８台の机の上に「どろんこ粘土」を用意して、１台の机に年少、年中、年長児が一緒になって交流を図りながら遊ぶ。また、昼食時には、一緒に遊んだ園児と弁当を食べる事により、友だち関係がより深まる。１つのきっかけが、次の日まで続く事もある。

③ 地域の環境を生かした保育

本園の周りには、高島平温水プール、熱帯植物館、子ども動物園、徳丸ヶ原公園それに少し遠いですが荒川の土手などがあり、全て（荒川の土手

を除く）徒歩５～10 分位で行ける。

高島平温水プールには、春と秋に合わせて４回年長児がプール遊びに行き、水に慣れることを目的に実施している。

熱帯植物館へは、夏季保育中にカブト虫やクワガタ虫等の見学に行く。

子ども動物園には、モルモット抱っこに行き小動物に触れる体験をしている。

徳丸ヶ原公園には、秋になるとどんぐりが落ちているので、どんぐり拾いに行く。

荒川の土手では、土手滑りをしたり、広い所でたこ揚げをした。

幼稚園の周りには、恵まれた施設が沢山あるため、子どもたちの保育に十分生かされていると評価する。

５．総合的な評価結果

アンケートの中で、１番こうま幼稚園に、入園させて良かったと思うか４番１年間を通して、園行事は充実していると思いますかの保護者評価は 100％近い肯定的評価であった

６．今後の取り組む課題

在園児の保護者及び卒園児の保護者には、こうま幼稚園の保育は、子どもを伸び伸び育ててくれると、評価をもらっている。しかし、本園の保育は、入園してみないと理解できない点があり、残念である。未就園児の保護者に対して、見える保育、分かる保育をしていかなければと感じる。

７．教育関係者評価委員会の評価

１クラス 15 人前後の人数で保育ができるのは、理想的である。先生は毎日全員の園児と会話ができ一人ひとり行き届いた保育ができる環境にあると思う。今後を期待している。